



2008/9/5-6

## 湖北地方で宿泊研修をしました！

発行日：2008/10/1 発行元：里親学生支援室

**1日目**の午前は、湖北地域の自然と文化を学ぶことを目的に、井上靖や水上勉の小説で一躍有名になった渡岸寺の「国宝十一面観音立像」を拝観した後、豊臣秀吉と柴田勝家が織田信長の後の主導権争いをし、秀吉が武勲者として史上に名をとどめ「賤ヶ岳の合戦」で知られている賤ヶ岳古戦場に登りました。

午後からは、湖北総合病院を訪れ病院の歴史や地域包括医療体制の説明を受けた後、病院内の施設を見学し、木ノ本町杉野での出張診療に同行しました。地域の人々や院長をはじめスタッフ・町会議員や区長さんから地域の現状のお話をうかがったあと、懇話会を実施しました。懇話会では、お話をうかがったお礼に学生が飛び入りで「アカペラ」を披露して、大変喜ばれました。また夜には、地域で活躍されている診療所の先生・滋賀医大卒業生の先生方・保健師の方やプチ里親の方をお招きし、意見交換等の交流会を開催しました。

**2日目**は、市立長浜病院・長浜赤十字病院等の施設の見学を実施し、市民による町おこしで有名な黒壁スクエアを散策した後、大学への帰路につきました。

参加した14名の学生（1年生）にとって、大変有意義な研修となりました。

以下は学生の感想文抜粋より↓↓

「患者さんの生の声からは、切実な望みが伝わってきます。効率化の為に医療機関を統合するより、点々と住民を守るように存在する診療所の重要性を知り、そこで働いていらっしゃる医師を尊敬しました。必要とされている所で、必要としている人々のために働けること、将来それができれば自分を褒める事ができるだろうなと思いました。」

「僻地医療の現状とこれからを多く知り、地域医療の大切さや医師が本当に必要なということが痛切にわかりました。」

「地域医療について本格的に考えるきっかけとなりました。」

「知らなかった滋賀の素敵な場所を知ることができました。」

「診療所見学、その後の地域の人との交流会では、日頃お年寄りと接する機会のない私にはとても貴重な体験ができました。」

「あのような患者さんがリラックスした状況でお話を聞くことはなかなか実現することができないものなので、とてもいい経験になりました。」

杉野診療所での懇話会



新聞に掲載されました！

中日新聞（9/6付け）で杉野診療所での懇話会の様子が取り上げられ、「里親」GPの取り組みが記事として掲載されました。

<掲載許可承諾済>

黒壁スクエアで町おこしのお話を拝聴



交流会の様子

長浜赤十字病院の橋本先生



西浅井診療所の大門先生



長浜市の保健師、福永さん



プチ里親の松本さん



交流会参加の皆様と



湖北総合病院 院長 森川 淳一郎先生



長浜赤十字病院にて



湖北総合病院にて

湖北総合病院では、安倍統括副院長のお話を拝聴した後、病院内の特別養護老人ホームや人工透析センター等の施設を見学させていただきました。学生たちは、初めて目にする設備の前におっかなびっくりの様子でしたが看護師さんの説明に対して真剣に耳を傾けていました。